

【2021年度】事業所向けサービス自己評価表（放課後等デイサービス）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動スペースを十分に取り、児童がのびのびと体を動かして活動できるようにしています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		支援の質を確保できるよう、職員を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動室内の段差をなくし、やむを得ず段差のある所にはスローを設置しています。また、視覚的な表示を使用し、情報伝達を行っています。	
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃を欠かさず行い、児童が安全に過ごせる環境作りをしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日の朝礼やミーティングの中で全てのスタッフに周知し、都度、目標と改善を話し合っています。	
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査を実施し、業務の振り返りを行っています。	
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		アンケート調査の結果をホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていませんが、社内での各事業所評価を行っています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修の実施を行い、質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		契約時や定期的な面談の中で、ニーズを聞き取り、個別支援計画に反映させています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを使用し、児童の状況把握に努めています。また、必要に応じて「Vineland-II」などのツールを使用しています。	
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を具体的な内容で検討、作成し、計画を基に支援を行っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にミーティングを行い、活動の案や取り組みについて検討しています。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児童の興味、特性に応じて活動内容を変更したり、使用する遊具や学習ツールを検討しています。	
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日と休日、長期休暇の活動を差別化し、メリハリのある活動内容になるようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	○		集団活動への参加を軸に、個別の活動にも触れ、計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		始業前に朝礼を行い、その日の打ち合わせ、意見交換を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終業前に終礼を行い、児童の様子、気づきなどを振り返り共有しています。	
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		一日の活動終了後に個人の記録を行い、共有を図っています。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に児童のモニタリング会議を開催し目標の到達度、計画の見直しの検討を行っています。	
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		全職員にガイドラインの内容を周知し、活動内容に反映させています。	
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて、担当者が会議に参加しています。	
	23 【児発】移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	24 【児発】移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	○		学校行事の確認や送迎時間の変更など様々の情報共有を密に行っています。	
	26		○	ケースや必要に応じて、就学前の事業所等と情報共有をしています。	
	27		○	事例がないので実施しておりません。	
	28		○	助言や研修を受けるようなスーパーバイザーとしての連携は行っていません。センター主催の研修会などへの参加を積極的に行っています。	
	29		○	地域の児童支援機関との連携を図り、実施できるようにしていきます。	
	30				
保護者への説明責任等	31	○		活動、支援時間に支障がおこらない範囲で参加しています。	
	32	○		毎日の送迎時や連絡帳にて児童の状況を伝え合い共有しています。	
	33		○	ペアレント・トレーニングは実施していません。送迎時や面談の機会に児童の対応に関する助言や情報共有を行っています。	
	34	○		見学時や契約前に説明を行い、理解を得る様にしています。	
	35	○		保護者の悩み等にきめ細やかに対応できるように保護への声掛けを行っています。	
	36	○		保護者が集まり、交流を持てる機会を作り、保護者同士の情報共有の場としてきましたが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できていません。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	受付担当者、責任者の体制を整備し、迅速に対応できるように努めています。
	38	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページや事業所のブログにより、活動の様子や情報発信をしています。
	39	○		個人情報に十分注意しているか	外部への持ち出しをしないなど、取り扱いには十分に注意をしています。
	40	○		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	理解しやすい表示や、拡大文字などを使用し、意思疎通を図っています。
	41		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域住民を招待することは行っていません。必要に応じて内容を検討していきます。
非常時等の対応	42	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルを策定し周知を図っています。
	43	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署立会いのもと、定期的な消防訓練を行い、また、消防学習なども併せて行っています。
	44	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を設置し、社内全体研修の一環で虐待防止に関する研修を行っています。
	45	○		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	契約時や定期的な面談の機会に聞き取りを行っています。
	46	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーに関して、保護者に聞き取りを行い、その都度確認し、取り除くなどの対応をしています。
47	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集を作成し、周知しています。	
48	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	身体拘束に関する説明を行っています。必要な児童については個別支援計画に記載しています。	